



YouTube連動企画【密着リポート】 将来は現場監督！商業高校から建設業 に就職した21歳の女性社員の一日



ラブラブ土木ー！みなさんこんにちは、土木学者のデミー博士です。今月号は高校を卒業して建設業に就職した女性社員の一日に密着します。密着したのは、小村萌花（こむらもえか）さん、21歳。株式会社田浦組（長崎市）の工事に所属し、働きはじめて4年目。驚いたことに小村さんは長崎女子商業高校の出身。商業高校を卒業すると事務職で働く人がほとんどですが、技術職それも土木・建設業で働く小村さん。小村さんが普段どのような仕事をしているのか？しっかり働くことができているのか？と疑問をもたれる読者も多いと思います。そこで今回は、疑問を解決すべく小村さんの仕事に密着しました。

「土木・建設業に就職することに不安はなかったんですか？」と私の問いに小村さんは、「とても不安だったんですけど大きな構造物を作る（土木・建設業の）仕事に興味があったことからチャレンジしてみよう！と思ったんです！」と。続けて小村さんは、「土木・建設業は、きつい、汚い、危険のイメージで男性の仕事だと思っていました。しかし、働いてみると、商業高校を卒業した私でも活躍できる場面が沢山あることに驚いたんです！」とやや興奮気味に語っていました。

小村さんの平均的な一日のスケジュールを図に示します。ここでは、このスケジュールにそってリポートしていきます。

小村さんの一日のスケジュール

起床・通勤

朝6時に起床。朝食を食べて出勤。出勤時の服装は作業着、自家用車を自ら運転して会社に通勤しています。

出社・ラジオ体操・掃除 掃除ミーティング

会社に到着後、自分の机で一息。その後、社員全員でラジオ体操と清掃。清掃では床のはき掃除や机のふき掃除を行っていました。掃除が終わるとミーティング。コロナ禍であることからオンラインで行っていました。会議には社長も出席。ミーティングでは参加者一人一人が一日の仕事内容を報告し、情報共有を行っていました。「本日はデミー博士の取材があります！」の報告もありました（笑）。

事務作業・準備

ミーティングが終わると事務作業を行い、そして安全パトロールとドローンの準備。ドローンの準備は機体に破損がないか、バッテリーが充電されているか、コントローラーと機体の通信ができるか、などのチェックを行っていました。

安全パトロール・ドローン撮影

準備が終わると現場に移動して安全パトロール。安全に作業を行っているか、安全に行える環境か、重機の運転手が資格証を携帯しているか、工事看板に安全規則が記載されているか、などを工事部長の森さんに指導をうけながらチェックを行っていました。その後、ドローン撮影。現場の進み具合を空から確認するために定期的に

昼休憩

行っているそうです。小村さんが自らドローンを操縦して撮影していました。慣れた操作に驚きました。

作業が終わると会社に戻って昼休憩。お昼のお弁当は自分でつくることもあるのだとか。取材日は療坊したのでコンビニ弁当（笑）。

報告書作成、3次元設計図作成

午後からは、午前中に行った安全パトロールやドローン撮影の報告書作成。工事部長の森さんにチェックしてもらいながら完成させていきました。優しく指導する森さんがとても印象的でした。報告書が終了すると3次元設計図の作成。パソコンで専用のソフトを使って道路の工事現場の設計図を作成していました。「まだまだ勉強中なんです」と言いつつもパソコンでソフトをサクサク操作する小村さんは頼もしく思えました。作業が終了すると17時に退社。忙しいときは19時まで残業することもあるようです。基本、土日はお休み。



小村さんの一日

- 6時00分 起床、朝食
- 7時30分 出社
- 8時00分 ラジオ体操・社内清掃
- 8時30分 社内ミーティング
- 8時45分 事務作業、ドローンの点検など
- 10時00分 安全パトロール、ドローン撮影
- 12時00分 昼休み
- 13時00分 安全パトロール点検表作成、ドローン写真整理作成など
- 14時00分 3次元設計データ作成など
- 17時00分 退社
- 19時00分 夕食
- 23時00分 就寝